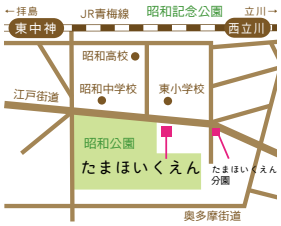
KUJIRASHIMA・ACCESSMAP

アクセスマップ

「くじらしま」は、昭島市内の以下の３園で開催している地域の子育て支援事業です。

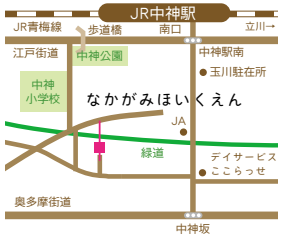
たまほいくえん

〒196-0033
東京都昭島市東町 5-1-40
☎ 042-544-1151



なかがみほいくえん

〒196-0025
東京都昭島市朝日町 5 -4-17
☎ 042-545-0255



イコロ昭和の森

〒196-0002
東京都昭島市拝島町 4041-1
☎ 042-545-0156

KUJIRASHIMA・CONTENTS

子育て支援コンテンツ

「くじらしま」ではさまざまな子育て支援活動を行っております。地域で子育てをしている方はどなたでもご参加いただけます。（※スケジュールは別添をご覧ください。参加にはメンバー登録が必要なものもございます。メンバー登録はホームページ、または直接園にご連絡ください。）

イベントパーク（行事体験）
園の行事に参加、体験いただけます

デイリーパーク（体験保育）
親子で日常の保育生活を体験（お子さまの給食有。無料）

子育てワークショップ
ミュージックダンス、わらべうた、食育、子育て広場、子育てサークル

たまごパーク
妊婦さんや０歳児が対象の遊び場。身体測定も実施。

ひよこパーク
在園児以外のお子さまが対象の遊び場です。

育児相談（随時受付）
各園にて受付けています。時間はご相談ください。

園内見学（随時受付）
各園にて受付けています。時間はご相談ください。

一時預かり保育（有料）
地域のお子さまを対象に一時保育を行っています。受入れには所定の手続きが必要となり、また入所の定員等に空きのある場合で園に余裕がある場合に限ります。詳細はお問合せください。

［発行］社会福祉法人多摩育児会　〒196-0033 東京都昭島市東町 5-1-40 多摩保育園内　☎ 042-544-1151
http://www.tns.or.jp

多摩育児会の子育て支援事業「くじらしま」は昭島の子育てを応援しています！

こそだておうえんマガジン

くじらしまだより

もくじ

SPRING INTERVIEW ……02
こんなことあんなこと ー春の行事 ……03
多摩育児会３園のひとこと紹介ページ ……04
ASOBI IRO IRO「サイエンス」 ……05
おうちでできるシリーズ ……06

2020 SPRING
4-6月

SPRING INTERVIEW

多摩育児会茶道部　心を整える和敬清寂の時間

実は約30年前から続く「多摩育児会茶道部」。10年前に一度休部した茶道部でしたが2年前から辻宗麻先生、北川宗美先生をお招きして再開しました。以前は園児向けのお稽古もありましたが、現在は15名の有志が集まり、大人の部のみお稽古をし、習った内容を保育に活かしているそうです。今回はそんな「茶道部」のお稽古を取材し、先生方にお話をお聞きしました。

Q：まず初めに、お茶の先生でいらっしゃる辻宗麻先生。「多摩育児会茶道部」で行われている内容について簡単に教えてください。

辻先生：30年前は私の母が先生をしていましたが一度休部になり、お稽古が再開した時から私が引き継ぎました。

平日の勤務時間中なので、2人1組で30分ずつの交替制でお稽古を行っています。はじめに「割稽古」といって、部分的に段階を踏んで練習をします。たとえば、お点前を行う方の作法には、おじぎや歩き方などの所作から、ふくさのさばき方、なつめや茶酌など道具の使い方、お茶の点て方などたくさんあります。それから、お茶席に呼ばれた際のお客様としての作法もあります。そして、ある程度できるようになったら、お茶を点てる「お点前さん」と、お茶とお菓子をいただく「お客さん」の役を交替で行って、部分的に行って来た動作を一連の動きとしてお稽古をします。

Q：この「茶道部」は任意で参加できる活動だとお聞きしました。先生方は「茶道」のどこに惹かれて参加なさっているのでしょうか？

A先生：多摩保育園では、5歳児の子どもたちがこの「茶室」で、年4回、園長先生が点てたお茶をいただく「四季のお茶会」が開催されます。そして「卒園式」では、陶芸の時間に子どもが自分で作った「お茶碗」を使って、お父さんお母さんへお茶をお運びしておもてなしをします。

私は今2年目ですが、私のように若い世代でお茶を習っている人は少なく私も「お茶」は未経験でしたが、幼児クラスを受け持ったことがきっかけで始めました。今ではお茶に関しての興味が深まり、楽しく続けています。

B先生：イコロ昭和の森にも茶室があって、今年初めて年長さんといっしょに「初釜」を行いました（写真下）。子どもたちは事前学習をせず参加したのですが、「お茶室」の空気を感性で受け止めて、みんなかしこまりつつも、楽しそうでした。

私自身は8年のブランクの後、今年の4月から再開しましたが、私にとっては、慌ただしい日常生活とは違うお茶室での時間は、緊張感がありながらも心がリラックでき、心を整える時間になっています。イコロでも年長さん向けにお茶の時間数を増やしていきたいと思っています。

ご近所の和菓子屋さんが準備してくださる季節ごとのお茶菓子も彩りがあり可愛くて。あまりにおいしくて、今ではすっかりケーキや洋菓子よりも和菓子のほうが好きになりました。

C先生：中神保育園にも日本人の心「お茶の時間」を子どもたちと一緒に共有したいと、4ヶ月前から茶道部に参加しています。「お茶」の所作はまだまだ勉強中ですが、これから5歳児に「立札」でお茶会を開き、子どもたちと「お茶」に触れていきたいと思っています。

ちなみに、このお茶室の床の間にある「和敬清寂」という掛け軸は、裏千家の「茶道」の心得を示す言葉で、「和（お互いに心を開いて仲良く）、敬（お互いに敬い合い）、清（目に見えるものだけではなく心の中も清らかに）、寂（どんな時にも動じない心」の意味があるそうです。

「茶道」は、自分で始めるにはお金も時間もかかるので、職場で体験できるのは、園児だけではなく私たち職員にとっても有り難い時間です。

Kujirashima Spring Event Pick Up

こんなことあんなこと〈春〉

多摩育児会の春の行事をピックアップします！

観劇会

イコロ昭和の森

毎年、多摩保育園・中神保育園の年長児をイコロ昭和の森へご招待して、演劇鑑賞会を行っています。プロの観劇の演技を間近で観ることで子どもたちの感じる心を豊かにすることがねらいです。本物に触れ、各園の「発表会」にも生かされていきます。また、この日は三園の年長児が観劇後、交流をします。交流会は年間を通して行われます。この観劇は初めての会となるため、「はじめまして」の顔合わせでもあります。

多摩育児会の園をご紹介します！

Nice to meet you

Hello Spring

多摩保育園（たまほいくえん）

「たまほいくえん」は、緑に囲まれた保育園です。色々な人が集い仲良く楽しい時間を過ごせる場所を目指しています。

多摩保育園の魅力は、昭和公園を生かして身体をたくさん使って活動する時間を大切にしているところです。戸外活動が大好きな子どもたちは、公園がまるで園庭かのように思いおもいに遊んでいます。
年長になると毎朝園長先生と「100km マラソン」を行います。“早寝早起き朝ごはん”を身につけながら卒園を迎える日までに100km 目指して走ります。

中神保育園（なかがみほいくえん）

桜の木と広い園庭が人々を出迎えてくれます。優しい木のぬくもりが伝わってきます。

中神保育園の魅力は、園庭にそびえる大きな桜の木を中心に元気に遊びながら生活できる環境です。身体をいっぱい使った遊びの中から成長とともに学びへと発展していく環境を準備しています。
四季それぞれの姿で見守ってくれる桜の木と一緒に、笑顔あふれる毎日が待っています。

イコロ昭和の森（しょうわ もり）

イコロの魅力は、異年齢の交わりが自然と生まれるにぎやかな環境です。どのクラスからもホールへと繋がるつくりが特徴のイコロは、縦割り保育を取り入れながら子どもたち同士の交流を大切にしています。
森に囲まれた園庭では自然のうつろいを感じながら、のびのびと遊ぶ子どもたちの姿が見られます。
私たちはここでの活動を通じて、明るく元気で自主性のある子どもに育ってほしいと願っています。

「イコロ」とはアイヌ語で「宝物」という意味。こども園に集う人々を「宝物」と考え、互いに尊重しあい高め合っていきます。

ASOBI IROIRO

あそび

VOL.9

サイエンス

４年前から「科学実験」の指導をしている山ちゃん先生です。現在、７歳、４歳、１歳児の子育て真っ最中です。出産前は教育系出版社で幼児・小学生向けの「科学実験教室」の先生をしていました。私はかねてから未就学前の小さな子どもたちに「科学」を通じたワクワクドキドキの感動体験を提供したいと思っていたのですが、自分の娘が入園する時に「モンテッソーリ」の話を聞き、その考え方と「科学実験」の体験に共通点が多いことに気がつきました。園長先生にその話をしたことがきかっけで、多摩育児会での「サイエンス」の時間が始まりました。

「理科」というと苦手意識のある方も多いかもしれませんが、「理科」は原理や法則を丸暗記するのではなく自分の手を動かして探求する、自分なりの「知」を身につける教科なんです。

目の前の現象を夢中になって観察することで“観察力”が、さらに実験前に「こうなるんじゃないかな？」と予想することで自分なりの考えを導き出す“考察力”が、養われていきます。

私が実験の中で大切にしていることは、五感を使うこと、１つでも多く子どもたち自身に手を動かして体験してもらうこと、その子なりの考えをもってもらうこと。

例えば、今回の実験ではペットボトルから水を注ぐなど、ちょっと難しい作業も子どもたちに体験してもらっています。

実験はみんなでやるとより面白いのです。実験中、私は子どもたちに「どんな匂いがするかな？」「どんな色になったかな？」と、積極的に声かけをしています。隣の子との違いを観察したり、教えあったり発言をしたり聞くことで同じオレンジ色でも「夕焼けのような色」など、自分なりの表現の幅が広がり、感じ方にも個性が出てくるからです。

また、予想と違う結果に驚き、不思議に感じたり、失敗してもやり直して、成功したときの達成感を味わうことができるのも「科学実験」の面白いところ。どうしたらうまくいくのかを自分で考えて、工夫して解決する力をつけることは将来を「生き抜く力」を養うことにもつながるでしょう。

小さな子どもたちも興味関心を持って楽しみ、ご家庭でも同じ実験ができるように、水、野菜、新聞紙など、身近な材料を使うようにしています。ぜひ、ご家庭でも「サイエンス」に親しんでいただけると嬉しいです。

幼少期の「サイエンス」のワクワクやドキドキの体験が心に残って、大人になった時の素敵な何かにつながるといいなと願っています。

語り手：山道美穂　　聞き手：小林未央

おうちでできるシリーズ

春をたのしむ 1・2・3

作ってみよう！

1 にこにこガラガラ

赤ちゃんはガラガラが大好きです。音が鳴ったり、小さい物が動いたり興味点がたくさんあるオモチャです。手に持ち振ると動きがある。音がなる。その度に刺激を受け成長していきます。ガラガラは布や木、プラスチックで出来ているものなどあります。
今回は、簡単に作れるペットボトルガラガラを紹介します。これから出産を迎えるママはお腹にいる赤ちゃんを思いながら作ったり、兄弟のいる方は、お兄ちゃんやお姉ちゃんと一緒に作ることもでき楽しくて幸せな時間になります。出来上がったガラガラはお外やお風呂でも遊べます。ぜひ、季節のガラガラなどを作って楽しんでみてください。

［材料］
- 小さいペットボトル、ビニールテープ
- 中に入れるパーツ
（ビーズ、ポンポン、木の実、モール、人形など）

「つくしはつんつん」著：みなみじゅんこ（チャイルド本社）

『つくしは つんつん』のわらべ歌に世界がこの絵本を通してスーッと伝わってきます。つくしや、わらび、きのこ、たけのこなど、まだ見たことのない小さなお友だちにもわかりやすく描かれています。大好きなダンゴムシさんがお散歩しながら紹介してくれるのも、人気の秘訣です！

春のわらべうた

2 つくしはつんつん

「わらべうた」って難しい？いえいえ、そんなことはありません！
歌詞もリズムも忘れちゃったら、オリジナルで大丈夫！
春ソングとして、いつもうたっていれば、
ぐずっている時にもとっても効果的です。
イライラの半減間違いなし♡ぜひお試しください。

「つくしはつんつん」
つくしは つんつん でるもんだ
わらびは わらって でるもんだ
きのこは きのしたへ でるもんだ
たけのこ たちまち でるもんだ
はるは いろいろ でるもんだ

こちらの QR コードから「つくしはつんつん」を動画でおたのしみいただけます！

春のこの1冊！

3 「ぽん ちん ぱん」

著：柿木原政広（福音館書店）

「ぽんちんぱん」の響きが楽しく、言葉のリズムのある絵本です。歌のようなリズミカルな言葉に合わせて、しょくパン・あんパンなど子どもが大好きなパンがでてきます。
子どもたちはリズミカルな言葉が大好きで、ページをめくるたびに「ぱんぱん」の所で手をたたいたり、一緒に「パン！」と言っています。「ぱ」行の音は赤ちゃんの大好きな音。
「ぽん」「ちん」「ぱん」と韻を踏んだ音の重なりによるリズムも大人気です。ぜひ、お子さんと一緒にお楽しみください。

● 絵本のお部屋 ●

中神保育園では「絵本のお部屋」の日を月に一度設けています。お子さんが自由に手に取ったり、お母さんのおひざの上に座って読んだり、ゆったりとくつろいだ空間を楽しんでもらえたらと思っています。ぜひ、お越しください。